

科目名	システム開発技術				
担当教員	村島 敏治		実務授業の有無	無	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	36
授業概要、目的、 授業の進め方	1. データベースに関する知識を習得する。 2. ネットワークに関する知識を習得する。 3. 情報セキュリティに関する知識を習得する。				
学習目標 (到達目標)	1. データベース、ネットワーク、セキュリティの概要を理解する。2. 情報処理技術者能力認定試験3級レベルの知識を習得する。3. 情報処理技術者能力認定試験2級レベルの知識を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・ その他資料	ウイネット システム開発技術＋情報処理技術者能力認定試験3級問題集＋情報処理技術者能力認定試験2級問題集、その他配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	データベース①		データのモデル化の種類（階層型モデル、網型モデル、関係モデル）と3層スキーマモデルなどを理解する。		
2～3	データベース②		関係データベースの基本的構成（テーブル、タプル、アトリビュート、主キー、外部キー）と基本操作（選択、射影、結合）を理解する。		
4～5	データベース③		関係データベースの正規化手法（第1正規形、第2正規形、第3正規形）について理解する。		
6～7	データベース④		SQLの基本文法（CREATE TABLE、SELECT、INSERT、DELETE、UPDATE、ALTER TABLE）を理解する。		
8～10	データベース⑤		SQLの応用文法（JOIN、副問合せ、相関副問合せ、カーソル）を理解する。		
11～12	データベース⑥		関係データベースの演算（和、差、積、直積）を理解する。		
13～15	データベース⑦		データベース管理システム（DBMS）を学びその機能（トランザクション管理、同時実行制御、保全機能、回復機能、分散DB）を理解する。		
16～17	データベース⑧		データベースの応用技術（データウェアハウス、データマイニング、ビックデータなど）を理解する。		
18	ネットワーク①		ネットワーク方式（LAN、WAN、インターネット、FTTH）や接続形態（トポロジ）について理解する。		
19～20	ネットワーク②		OSI基本参照モデルの各層の働き及びネットワーク間接続装置（ゲートウェイ、ルーター、ブリッジ、リピータ）について理解する。		
21～22	ネットワーク③		TCP/IPの仕組みとポート番号について理解する。		
23～24	ネットワーク④		IPアドレス（IPv4、IPv6）及びグローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスの違い、NATとNAPTの機能について理解する。		
25	ネットワーク⑤		ネットワーク管理（IPアドレス管理、ドメイン名管理、SNMPなど）について理解する。		
26	ネットワーク⑥		TCP/IPで使用されるアプリケーションについて理解する。		
27	ネットワーク⑦		ネットワーク応用技術（VPN、SDN、VoIP、LTE、LPWAなど）について理解する。		
28	情報セキュリティ①		情報セキュリティの目的、脆弱性、不正のメカニズムなどを理解する。		
29～30	情報セキュリティ②		システムへの攻撃手法（攻撃者、マルウェア・不正プログラム、パスワード解析、各種攻撃手法）について理解する。		
31～32	情報セキュリティ③		暗号化技術（共通鍵暗号方式、公開鍵暗号方式、ハイブリッド暗号方式）について理解する。		
33	情報セキュリティ④		認証技術、利用者認証について理解する。		
34	情報セキュリティ⑤		セキュリティ技術（セキュアプロトコル、不正アクセス対策、ウイルス対策）について理解する。		
35	情報セキュリティ⑥		セキュリティリスク、セキュリティアセスメント、セキュリティインシデントについて理解する。		
36	情報セキュリティ⑦		セキュリティ管理（セキュリティポリシー、セキュリティ機関、セキュリティ評価、セキュリティ対策）について理解する。		

科目名	マネジメントと情報化				
担当教員	西海 智久		実務授業の有無	無	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	72
授業概要、目的、授業の進め方	1. 開発技術に関する知識を習得する。 2. ストラテジー、マネジメントに関する知識を習得する。				
学習目標 (到達目標)	1. システム開発、マネジメントの概要を理解する。 2. 情報処理技術者能力認定試験 3 級レベルの知識を習得する。 3. 情報処理技術者能力認定試験 2 級レベルの知識を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウィネット マネジメントと情報化＋情報処理技術者能力認定試験 3 級問題集＋情報処理技術者能力認定試験 2 級問題集、その他配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～3	システム開発とマネジメント		レビュー、ウォーターフォールモデル、スパイラルモデル、アジャイルなどを学ぶ。		
4～8	システム開発とマネジメント		テスト駆動開発、ペアプログラミング、決定表、E-R図、UML、クラス図、シーケンス図などを学ぶ。		
9～12	システム開発とマネジメント		ヒューマンインタフェース、コード設計、モジュール分割、モジュール強度、モジュール結合度などを学ぶ。		
13～16	システム開発とマネジメント		オブジェクト指向、カプセル化、ポリモフィズム、などを学ぶ。		
17～20	システム開発とマネジメント		ホワイトボックステスト、命令網羅、PMBOK、アローダイアグラムなどを学ぶ。		
21～24	サービスマネジメントとシステム戦略		ITIL、SLA、サービスの管理と移行などを学ぶ。		
25～28	サービスマネジメントとシステム戦略		システム監査、ガバナンス、システム戦略、などを学ぶ。		
29～32	サービスマネジメントとシステム戦略		クラウドサービス、ビッグデータ、要件定義などを学ぶ。		
33～36	企業と経営戦略		コーポレートアイデンティティ、コーポレートガバナンス、ワークライフバランス、などを学ぶ。		
37～40	企業と経営戦略		経営組織、経営戦略手法、シナジー効果、イノベーション、などを学ぶ。		
41～44	企業と経営戦略		コアコンピタンス、M&A、SWOT分析、マーケティングなどを学ぶ。		
45～48	企業と経営戦略		R&A、Society5.0、MRP、CAD、EDI、などを学ぶ。		
49～52	OR・IE		順列、組合せ、確率、分散、標準偏差、待ち行列、線形計画法、QC、などを学ぶ。		
53～56	企業会計		損益分岐点、財務諸表、キャッシュフロー、などを学ぶ。		
57～60	法務と標準化		知的財産権、著作権、などを学ぶ。		
61～64	法務と標準化		セキュリティ基本法、個人情報保護法、などを学ぶ。		
65～68	法務と標準化		プロバイダ責任制限法、労働基準法、労働者派遣法、下請法などを学ぶ。		
69～72	法務と標準化		コンプライアンス、ISO、JISなどを学ぶ。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
検定結果60%、平常点40%			開発技術、セキュリティ、マネジメント、ストラテジーに関する知識を、偏りなく習得する。		
成績評定基準は、A(80点以上)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	－				

科目名	プログラム設計					
担当教員	村島 敏治			実務授業の有無	無	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期	
必修・選択	必修	単位数		時間数	48	
授業概要、目的、 授業の進め方	フローチャート、疑似言語の使い方を習得し、基本的なアルゴリズムを学習する。					
学習目標 (到達目標)	探索処理や整列処理などの代表的なアルゴリズムの手順、特徴を理解する。					
テキスト・教材・参考図書・ その他資料	ウイネット アルゴリズムとデータ構造 インフォテックサーブ 疑似言語で学ぶアルゴリズム（家庭学習用） その他配布資料					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1～2	アルゴリズム入門			アルゴリズムの考え方、データ型、領域（変数）、基本構造（連続、選択、反復）を理解する。		
3～5	流れ図の基本パターン			流れ図（フローチャート）の記述形式を学び、基本構造（連続、選択、反復）の流れ図で表す。		
6～7	疑似言語の基本パターン			疑似言語の記述形式（宣言部、処理部）を学習する。		
8～11	計算のアルゴリズム			基本的なアルゴリズム（合計・平均、べき乗、最大・最小）を学び、問題演習をすることで理解を深める。		
12～15	手続・関数			関数の作り方、引数、戻り値について理解する。		
16～20	配列の操作			1次元配列、2次元配列などを用いたアルゴリズムを学習し、問題演習をすることで理解を深める。		
21～25	探索のアルゴリズム			線形探索、ブロック探索、二分探索、ハッシュ探索を学習し、問題演習をすることで理解を深める。		
26～32	整列のアルゴリズム			基本選択法、基本交換法、他の整列アルゴリズムを学習し、問題演習をすることで理解を深める。		
33～36	オブジェクト指向プログラミングの基本パターン			オブジェクト指向プログラミングを学習し、クラスとオブジェクト、継承、オーバーロードを理解する。		
37～40	データ構造			構造型、リスト、スタック、キュー、木構造などを学習し、問題演習をすることで理解を深める。		
41～48	実践アルゴリズム			基数変換、経路選択、他のアルゴリズムを学習し、問題演習をすることで理解を深める。		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
検定結果60%、平常点40%				問題演習を通して、理解を深める。 知識・理解が不十分な場合は、補習授業を行うことがある。		
成績評定基準は、A(80点以上)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		エンジニアとしてソフトウェア開発の現場において8年間係わっていた				

科目名	C言語実習				
担当教員	村島 敏治		実務授業の有無	無	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	92
授業概要、目的、 授業の進め方	課題プログラムの作成を通し、C言語基本文法の理解を深める。同時に実行、テスト、デバッグの手法を理解する。C言語の授業時間と補完しながら進める。				
学習目標 (到達目標)	実習課題のプログラムを作成、実行、テストできる。				
テキスト・教材・参考図書・ その他資料	配布資料（オリジナル課題） インフォテックサーブ Cプログラミング（章末練習問題）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	C言語開発環境について		実習で使用するPCの開発環境を整える。		
5～9	データの入力と出力に関する実習 (Printf／scanf)		第2章プログラミング問題を作成し提出する。		
10～15	プログラムの基本構造に関する実習 (順次、選択、繰り返し、演算子)		第3章プログラミング問題を作成し提出する。		
16～22	関数に関する実習 (引数、戻り値、スタック、プロトタイプ宣言、再帰呼び出し)		第4章プログラミング問題を作成し提出する。		
23～32	配列に関する実習 (一次元配列、多次元配列、文字型配列、文字列関数)		第5章プログラミング問題を作成し提出する。		
33～45	ポインタに関する実習（ポインタ、配列におけるポインタ、ポインタ配列、コマンドライン）		第6章プログラミング問題を作成し提出する。		
46～60	データ型変換と記憶クラスに関する実習 (データ型変換、スコープ、ビット演算)		第7章プログラミング問題を作成し提出する。		
61～68	プリプロセッサに関する実習 (#include、#define)		第8章プログラミング問題を作成し提出する。		
69～80	構造体と共用体に関する実習 (構造体、共用体、列挙体)		第9章プログラミング問題を作成し提出する。		
81～92	ファイル処理に関する実習（ファイル構造体、ファイルポインタ、文字単位入出力、行単位入出力）		第10章プログラミング問題を作成し提出する。		

科目名	Javaプログラミング				
担当教員	村島 敏治		実務授業の有無	無	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	52
授業概要、目的、 授業の進め方					
授業形態	対面授業にて実施				
学習目標 (到達目標)					
テキスト・教材・参考図書・その他 資料	ソーテック社 いちばんやさしいJava入門教室				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	Javaの基本操作法		実行環境の準備とその使い方、基本的なプログラム記述について学ぶ。		
2～3	変数		変数、演算子、データ型について学ぶ。		
4～5	条件分岐		if文、switch文、論理式について学ぶ。		
6～7	繰り返し		for文、while文、do文について学ぶ。		
8～10	配列		配列の扱いを学ぶ。		
11～15	メソッド		メソッドの定義、使い方について学ぶ。		
16～18	JDKの使い方		Java統合開発環境の準備とその使い方を学ぶ。		
19～23	クラスについて		オブジェクト指向プログラミングにおけるクラスの考え方を学ぶ。		
24～30	GUIとグラフィック		AWT・Swing・JavaFXの機能と使い方を学ぶ。		
31～36	スレッド		スレッドを使用しての並列処理・同期について学ぶ。		
37～42	ファイル操作と日時の使い方		ファイルへのデータの入出力及び日時を扱うクラスについて学ぶ。		
43～52	アプリケーション開発演習		テキストエディタプログラムの作成を通しJavaプログラミングの理解を深める。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
提出課題75%、平常点25% 成績評定基準は、A(80点以上)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。			実習課題の提出期限を厳守する。		
実務経験教員の経歴	エンジニアとしてソフトウェア開発の現場において8年間関わっていた				

科目名	午前免除対策				
担当教員	村島 敏治／西海 智久		実務授業の有無	無	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	68
授業概要、目的、 授業の進め方	基本情報技術者試験 免除対象講座認定制度 終了試験の合格に必要な知識を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	基本情報技術者試験 免除対象講座認定制度 終了試験レベルの知識を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・ その他資料	基本情報技術者試験 過去問題（科目A問題）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～6	第1回模擬試験及び解説		問題演習／問題演習の解説。		
7～12	第2回模擬試験及び解説		問題演習／問題演習の解説。		
13～18	第3回模擬試験及び解説		問題演習／問題演習の解説。		
19～24	第4回模擬試験及び解説		問題演習／問題演習の解説。		
25～30	第5回模擬試験及び解説		問題演習／問題演習の解説。		
31～36	第6回模擬試験及び解説		問題演習／問題演習の解説。		
37～42	第7回模擬試験及び解説		問題演習／問題演習の解説。		
43～48	第8回模擬試験及び解説		問題演習／問題演習の解説。		
49～54	第9回模擬試験及び解説		問題演習／問題演習の解説。		
55～60	第10回模擬試験及び解説		問題演習／問題演習の解説。		
61～66	第11回模擬試験及び解説		問題演習／問題演習の解説。		
67～68	総まとめ		弱点部分の復習を行う。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
検定結果60%、平常点40%			知識・理解が不十分な場合は、補習授業を行うことがある。		
成績評定基準は、A(80点以上)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	エンジニアとしてソフトウェア開発の現場において8年間係わっていた				

科目名	前期検定対策				
担当教員	西海 智久		実務授業の有無	無	
特別講義（情報処理2級対策）	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	50
授業概要、目的、 授業の進め方	情報処理技術者能力認定試験２級の合格に必要な知識を学ぶ。				
学習目標 （到達目標）	情報処理技術者能力認定試験２級レベルの知識を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・ その他資料	ウイネット 情報処理技術者能力認定試験２級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	第１部演習問題 基礎理論		問題演習と解説。		
5～11	第１部演習問題 コンピュータシステム		問題演習と解説。		
12～16	第１部演習問題 技術要素		問題演習と解説。		
17～18	第１部演習問題 開発技術		問題演習と解説。		
19～20	第１部演習問題 ストラテジ		問題演習と解説。		
16～18	第２部演習問題 情報セキュリティ		問題演習と解説。		
19～25	第２部演習問題 コンピュータシステム		問題演習と解説。		
26～33	第２部演習問題 マネジメント		問題演習と解説。		
34～37	第２部演習問題 ストラテジ		問題演習と解説。		
38～45	第２部演習問題 データ構造及びアルゴリズム		問題演習と解説。		
46～50	模擬試験		模擬試験の実施と解説。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
検定結果60%、平常点40%			知識・理解が不十分な場合は、補習授業を行うことがある。		
成績評定基準は、A(80点以上)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	－				

科目名	後期検定対策				
担当教員	村島 敏治／西海 智久		実務授業の有無	無	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	51
授業概要、目的、 授業の進め方	応用情報技術者試験、基本情報技術者試験などの情報処理技術者試験に合格するための基礎知識を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	応用情報技術者試験、基本情報技術者試験などに共通する基礎知識を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・ その他資料	情報処理技術者試験 過去問題（応用情報午前、基本情報午前、他）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～6	第1回模擬試験及び解説		問題演習／解説。		
7～12	第2回模擬試験及び解説		問題演習／解説。		
13～18	第3回模擬試験及び解説		問題演習／解説。		
19～24	第4回模擬試験及び解説		問題演習／解説。		
25～30	第5回模擬試験及び解説		問題演習／解説。		
31～36	第6回模擬試験及び解説		問題演習／解説。		
37～42	第7回模擬試験及び解説		問題演習／解説。		
43～48	第8回模擬試験及び解説		問題演習／解説。		
49～51	総まとめ		模擬試験の実施と解説。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
検定結果60%、平常点40% 成績評定基準は、A(80点以上)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。			課題の提出期限を厳守する。		
実務経験教員の経歴	エンジニアとしてソフトウェア開発の現場において8年間関わっていた				

科目名	H T M L 実 習				
担当教員	西海 智久		実務授業の有無	無	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	43
授業概要、目的、 授業の進め方	HTML、CSS、JavaScriptの概要を理解し、オリジナルのＨＰを作成する知識・技術を習得する。				
学習目標 (到達目標)	ＨＰ制作の課題を作成できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	株式会社 マイナビ出版 「これからWebをはじめる人の HTML & CSS、 JavaScriptのきほんのきほん」				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～3	Webの開発環境を整えよう		PCやブラウザ、エディター等を準備し学習環境を整える。		
4～6	HTMLとCSSの基本を学ぼう①		簡単な会員入会サイトを作り、入力フォームやタグ等について学ぶ。		
7～9	HTMLとCSSの基本を学ぼう②		CSSの基本構造と書式、CSSの設定場所、スタイルの定義などを学ぶ。		
10～12	スマートフォン対応の基本を学ぼう①		スマートフォン独自の基本レイアウトを学ぶ。		
13～15	スマートフォン対応の基本を学ぼう②		スマートフォンに対応させ、CSSアニメーションを学ぶ。		
16～18	CSSフレームワークの基本を学ぼう①		フォーム、ドロップダウンリスト、リストボックス等について学ぶ。		
19～21	CSSフレームワークの基本を学ぼう②		ラジオボタンや入力エリア、リセットボタン等について学ぶ。		
22～24	JavaScriptの基本を学ぼう		JavaScriptの基礎を学ぶ。		
25～27	イベントドリブンの基本を学ぼう		if構文やファンクション、繰り返し実行プログラム等について学ぶ。		
28～30	Ajax通信の基本を学ぼう		JSONデータ、for構文、Ajax通信、jQuery等について学ぶ。		
31～39	課題制作		ＨＰ作成の実習課題を制作する。		
40～43	課題発表		作成したHPのプレゼンテーション及びその準備を行う。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
提出課題75%、平常点25% 成績評定基準は、A(80点以上)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。			実習課題の提出期限を厳守する。		
実務経験教員の経歴		－			

科目名		表計算基礎				
担当教員		西海 智久		実務授業の有無	無	
対象学科		情報システム科／IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数		時間数	48
授業概要、目的、 授業の進め方		Excel表計算処理技能認定試験３級の合格に必要な知識を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)		Excel表計算処理技能認定試験３級レベルの知識を習得する。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		ウイネット Excel2019クイックマスター、Excel表計算処理技能認定試験３級問題集				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
１～４	Excelの基本、データの編集			Excelの画面構成、画面操作、セルの選択、新規ブックの作成、数式の入力、データの移動とコピーなどを学ぶ。		
５～８	表の編集、ブックの印刷			罫線の設定、セルの書式設定、表示形式の指定、表示モードの切換え、印刷範囲の指定などを学ぶ。		
９～１２	グラフの作成			グラフの作成、グラフの編集などを学ぶ。		
１３～１６	図形の作成、ブックの利用と管理			図形の作成、図形の編集、ワークシートの管理、ウインドウの操作などを学ぶ。		
１７～２０	関数１			統計関数、数学／三角関数などを学ぶ。		
２１～２４	関数２			論理関数、日付関数などを学ぶ。		
２５～２８	データベース機能			リストの作成、並べ替え、データの抽出、小計の挿入などを学ぶ。		
２９～３２	練習問題１～２			問題演習と解説。		
３３～３６	練習問題３、模擬問題１			問題演習と解説。		
３７～４０	模擬問題２～３			問題演習と解説。		
４１～４４	模擬問題４～５			問題演習と解説。		
４５～４８	模擬問題６～７			問題演習と解説。		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
検定結果60%、平常点40%				問題演習はホームワークとなる場合がある。		
成績評定基準は、A(80点以上)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		－				

科目名	表計算応用				
担当教員	西海 智久		実務授業の有無	無	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、 授業の進め方	Excel表計算処理技能認定試験 2 級の合格に必要な知識を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	Excel表計算処理技能認定試験 2 級レベルの知識を習得する。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	株式会社ウイネット Excel2019クイックマスター（応用編） 株式会社サーティファイ Excel表計算処理技能認定試験 1 ・ 2 級問題集（2019対応）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～2	入力補助機能		コメント、条件付き書式、名前の定義、検索と置換などを学ぶ。		
3～5	関数		文字列操作関数、データベース関数、検索／行列関数などを学ぶ。		
6～7	グラフ機能		グラフの拡張やグラフを使ったデータ予測を学ぶ		
8～9	複数ワークシートの集計		ワークシートの連携やワークシート間の連携を学ぶ。		
10～11	データベース		オートフィル、データの並べ替え、複雑な条件による抽出などを学ぶ。		
12～14	データの分析		ワークシートの分析、ピボットテーブル、値を代入した表の作成、値の予測などを学ぶ。		
15～16	処理の自動化		マクロの登録、実行を学ぶ。		
17～18	レンタルショップでのExcel活用例、貸出リストの作成		マスターリスト、入力規則、シートの保護を学ぶ。		
19～21	貸出リストの分析		データの抽出、分析結果のグラフ化を学ぶ。		
22～23	最適化分析と処理の自動化		ゴールシーク、マクロの操作を学ぶ。		
24～25	総合学習問題		問題演習と解説。		
26～27	2 級テーマ別知識練習問題 1 ～ 7		問題演習と解説。		
28～29	2 級実技練習問題 1 ～ 2		問題演習と解説。		
30～31	2 級実技練習問題 3 ／ 2 級模擬問題 1		問題演習と解説。		
32～33	2 級模擬問題 2 ～ 3		問題演習と解説。		
34～35	2 級模擬問題 4		問題演習と解説。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
検定結果60%、平常点40%			問題演習はホームワークとなる場合がある。		
成績評定基準は、A(80点以上)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	－				

科目名	就職実務				
担当教員	片野 高史、村島 敏治		実務授業の有無	無	
対象学科	情報システム科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	54
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 就職活動に必要な知識、情報を得る。 2. 筆記試験練習（一般常識、SPI、CAB・GAB）を行なう。 3. 模擬面接（面接練習）を行なう。				
学習目標 （到達目標）	実際に就職活動を行なえる。				
テキスト・教材・参考図書・ その他資料	ウイネット 勝つための就職ガイドSUCCESS				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	就職活動の心構え①		なぜ就職するのか、企業が求める人材とは、身だしなみなどを学ぶ。		
2	就職活動の心構え②		就職活動の流れ、就職活動のルールと諸注意、求職登録と校内模擬面接などを学ぶ。		
3～4	自分と職業を理解する①		ライフスタイルを考える、自己分析で考えるポイント、自己PRの作り方などを学ぶ。		
5～7	自分と職業を理解する②		業種と職種、仕事と関連資格、志望動機の作り方などを学ぶ。		
8～9	情報収集のポイント、企業研究の方法		情報の収集方法と活用ポイント、就職課の利用、就職情報サイトの利用、求人票の見方などを学ぶ。		
10	作成書類①		エントリーシートの書き方、履歴書の書き方などを学ぶ。		
11	作成書類②		履歴書の下書きを作成する。		
12	企業訪問		企業訪問とは、企業訪問の準備、アポイントメントの取り方などを学ぶ。		
13	就職試験		就職試験の概要などを学ぶ。		
14	面接試験対策①		面接試験の形式、面接試験の受け答えなどを学ぶ。		
15	面接試験対策②		圧迫面接、スピーチの訓練、本番前の自己チェックなどを学ぶ。		
16	筆記試験対策		適性検査、一般常識、作文・小論文などを学ぶ。		
17	受験後の報告		内定したときにすべきこと、不合格だったときの振り返りなどを学ぶ。		
18～19	履歴書の作成		履歴書の清書を完成する。		
20～22	求職票の作成		求職票を完成する。		
23～35	筆記試験問題演習		一般常識試験、SPI、CAB・GABなどの問題演習を行なう。		
36～54	面接準備、練習		面接の準備をし、模擬面接を行なう。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、平常点40% 成績評定基準は、A(80点以上)・B(65点以上)・C(51点以上)・D(50点以下)とする。			履歴書、求職票の提出期限を厳守する。		
実務経験教員の経歴		エンジニアとしてソフトウェア開発の現場において8年間係わっていた			

科目名	SQL演習				
担当教員	村島 敏治		実務授業の有無	無	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	27
授業概要、目的、 授業の進め方	SQL言語を使いデータベースの操作方法を学習し、テキストを用いてSQLのコマンドや文法などの基礎知識を深める。				
授業形態	対面授業				
学習目標 (到達目標)	SQLの文法とコマンドを学習し、データベースを操作できるスキルを養う。				
テキスト・教材・参考図書・ その他資料	技術評論社 『SQL書き方ドリル』				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～2	基本操作		SQLを使ったデータベースの操作方法を学ぶ。		
3～4	ひとつのテーブル		単テーブルでのSQL文を学ぶ。		
5～6	複数のテーブル		複数テーブルでのSQL文を学ぶ。		
7～9	追加・更新・削除		レコードの追加、更新、削除を学ぶ。		
10～15	応用問題		実践的なケースを通じてSQL文を学び応用力を養う。		
16～27	練習問題		反復練習によってSQL文を身に着ける。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題または試験75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態度などを加味する。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。			課題の提出期限を守ること。		
実務経験教員の経歴	エンジニアとしてソフトウェア開発の現場において8年間関わっていた				

科目名	Python実習（IoT）				
担当教員	村島 敏治		実務授業の有無	○	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	40
授業概要、目的、 授業の進め方	Pythonによる基本的なプログラミング技術を学び、IoTでのプログラミング演習としてドローンプログラミングを行う。				
授業形態	対面授業 座学及び演習				
学習目標 （到達目標）	Pythonでのプログラミングができるようになる。 IoTプログラミング演習として、ドローンを制御するプログラムを作成する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	株式会社ウイネット 『Python プログラミング』 トイドローン 『TELLO』				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	Pythonへの入り口		開発環境（ILDE）のインストール。		
2-3	Pythonの基礎		対話モード、実行モードの使い方を学ぶ。 基本的な文法、データ型、関数、メソッドを理解する。		
3-5	分岐		分岐命令（if）の基本的な文法を理解する。		
6-9	繰り返し		繰り返し文（for,while）の基本的な文法を理解する。 繰り返し文によるリスト（配列）処理を学ぶ。		
10-12	コレクション		コレクション、辞書、タプルのデータ構造を理解する。		
13-17	関数		関数の作り方、ローカル変数／グローバル変数の違い、引数、関数オブジェクトについて学ぶ。		
18-27	クラスとオブジェクト		Pythonでのオブジェクト指向プログラミング技術を学ぶ。		
28-30	ファイル操作と例外処理		ファイルへのデータ入出力について学ぶ。		
31-33	ライブラリの利用		ライブラリの利用方法と外部ライブラリの活用について学ぶ。		
34-40	実践的なPythonアプリケーションの開発		自動航行ドローン制御プログラムの作成演習を行う。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
プログラミング課題での評定75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態度などを加味する。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。			プログラミング課題はホームワークとなる場合がある。		
実務経験教員の経歴	エンジニアとしてソフトウェア開発の現場において8年間係わっていた				

②

長岡公務員・情報ビジネス専門学校 シラバス

科目名	プレゼンテーション				
担当教員	西海 智久		実務授業の有無	○	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	プレゼンテーションの基礎的な知識とPowerPoint2019を使っ ての効果的なプレゼンテーションの制作方法を学 ぶ。				
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施				
学習目標 (到達目標)	PowerPoint2019を使っ てのプレゼンテーションの制作と効果的なプレゼンテーションのスキルを習得する。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	株式会社ウイネット『PowerPoint2019クイックマスター』				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	プレゼンテーション概論		プレゼンテーションの基礎、方法、テクニックを学ぶ。		
2～3	PowerPointの基本操作、プレゼンテーションの作成、文字やスライドの編集		PowerPoint2019の画面構成、文字・スライドの編集を学 ぶ。		
4～5	オブジェクトの作成、表やグラフの作成		図や図形、表やグラフの作成、編集を学ぶ。		
6～7	表示効果とハイパーリンク、スライドショーの実行		画面切替やアニメーション効果、ハイパーリンクについて 学ぶ。		
8～9	プレゼンテーションの動作の設定、SmartArtの活用		画面切替やアニメーション効果の詳細設定、SmartArtの活 用方法について学ぶ。		
10～15	テーマに基づき各自プレゼンテーション作成		プレゼンテーションを作成し、各自発表。		

科目名	プログラミング実習Ⅱ (Unity)				
担当教員	西海 智久		実務授業の有無	○	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	Unity2022の使用法とC#を学習し、2Dと3Dゲームアプリを作成する。				
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施				
学習目標 (到達目標)	2D、3Dゲームアプリの課題を作成できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	SBクリエイティブ株式会社 『Unityの教科書 Unity 2022完全対応版』				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～2	ゲーム作りの準備、Unityのインストール、Unityに触れて慣れよう		Unityでゲームを作る準備、ライセンス、画面構成等を学ぶ。		
3～4	C#スクリプトの基礎、スクリプトの第一歩		プロジェクトの作成、スクリプトの作成等を学ぶ。		
5～6	変数、制御文、配列を使ってみよう		変数の初期化と代入、変数同士の演算、if文、配列のルール等を学ぶ。		
7～8	メソッド、クラス、Vectorクラスを使ってみよう		メソッド、クラス、Vectorクラスの概要、使い方、応用方法等を学ぶ。		
9～10	スクリプトの作り方、スクリプトのアタッチ		スクリプトの作り方、アタッチの方法等を学ぶ。		
11～12	ルーレットを回そう＆止めよう、スマートフォンで動かしてみよう		スクリプトを修正してルーレットが回る＆止まる方法、スマートフォンでの動作等を学ぶ。		
13～14	スワイプで車を動かそう、UIを表示しよう		画面タッチやスワイプでの位置認識方法等について学ぶ。		
15～16	UIを書き換える監督を作ろう、効果音を鳴らそう		ユーザーインターフェースの設計、書き換えスクリプト、AudioSourceコンポーネント等について学ぶ。		
17～18	キー操作でプレイヤーを動かそう、当たり判定を学ぼう		プレイヤーのスクリプト、当たり判定のスクリプト等について学ぶ。		
19～20	Prefabと工場の作り方を学ぼう		Prefabの概要、ジェネレータスクリプト等について学ぶ。		
21～22	Physicsを学ぼう、アニメーションを学ぼう		Physics（物理演算）、Mecanimでのアニメーション等について学ぶ。		
23～24	Physicsで当たり判定を作ろう、シーンの遷移方法		Physicsでの当たり判定検出、クリアシーンの作成等を学ぶ。		
25～26	3Dゲームの作り方、Terrainで地形を作ろう		3Dゲームの座標系、Terrainでの地形作成、テクスチャのペイント等について学ぶ。		
27～28	Physicsでイガグリを飛ばす、パーティクルでエフェクトを表示		的の配置、イガグリを飛ばすスクリプト作成、イガグリ命中時の処理、エフェクトの表示等について学ぶ。		
29～30	レベルデザインをしよう		制限時間、パラメータの微調整等について学ぶ。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態度などを加味する。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。			課題の提出期限を守ること。		
実務経験教員の経歴		－			

科目名		SQL Server				
担当教員		片野 史高		実務授業の有無	○	
対象学科		情報システム科／IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択		必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方		SQLサーバーとSQLサーバーマネージメントスタジオをインストールし設定し、それらを使いデータベースの仕組みや操作方法の習得を図り、テキストを用いてSQLコマンドや文法などの基礎知識を深める。				
授業形態		対面授業と遠隔授業の併用実施				
学習目標 (到達目標)		SQLの文法とコマンドを学習し、SQLサーバーを使っでのデータベース操作方法を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		ソシム株式会社 『SQL Server 2016の教科書』				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1～3	SQLサーバーの概要とインストール			SQLサーバーの概要、インストールと環境設定をする。		
4～6	インストール後の構成			管理ツール、動作確認、フォルダ構成を確認する。		
7～8	SQLサーバーを使ってみる			SELECT、UPDATE、DELETを使ってSQLサーバーを体験する。		
9～10	正規化			正規化、関数従属とキー、正規化の手順を学ぶ。		
11～15	制約			PRIMARY KEY制約、UNIQUE制約、CHECK制約、FOREIGN KEY制約について実証して学ぶ。		
16～19	SQLステートメントの基本			データを並べ替える（ORDER BY）、WHERE句、そのほかの演算子を学ぶ。		
20～23	SQLステートメントの応用			集計関数とグループ化、複数テーブルの結合、外部結合（OUTER JOIN）、3つ以上のテーブルの結合を学ぶ。		
24～28	テーブル関連の操作とデータのインポート・エクスポート			IDENTITYプロパティ、TRUNCATE TABLE、DEFAULT値、CSVファイルのエクスポート、データインポートを学		
29～30	照合順序、データ型			照合順序、データ型を学ぶ。		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
課題または試験75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態度などを加味する。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。				課題の提出期限を守ること。		
実務経験教員の経歴		オープン系システム開発運用において7年間、Web系に8年間関わっていた				

科目名	Webプログラミング（WordPress）					
担当教員	片野　史高			実務授業の有無	○	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科		対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修		単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)の概要を理解する。					
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施					
学習目標 （到達目標）	WordPressを使ったホームページの構築を目標とする。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	株式会社ソーテック社　『いちばんやさしいWordPress入門教室』					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	WordPressの初期設定			開発環境の準備をする。XAMPPのダウンロード、インストールをする。		
2	投稿ページを作る			カテゴリー設定、お知らせ投稿、ブロックエディターを学ぶ。		
3	固定ページを作る			トップページ、投稿一覧ページを作成し、ブロック機能を拡張してページを作成する。		
4～8	問合せページを作る			メールフォーム、お問い合わせページ、自動送信メール設定、プライバシーポリシーを作成する。		
9～13	トップページを仕上げる			トップページの構成、スライドショーの設定、トップページのコンテンツを作成する。		
14～17	共通パーツを設定する			ナビゲーションメニュー、フッターにウィジェットを設置、ウィジェットの種類を学ぶ。		
18～27	Webサイト運用の知識			SSL、バックアップ、セキュリティ対策、アクセス解析、SNSとの連携を学ぶ。		
28～30	応用例			付属のテーマを活用方法、企業サイトの作成例、飲食店サイトの作成例、クリエイターサイトの作成例を学ぶ。		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
課題75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態度などを加味する。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。				課題の提出期限を守ること。		
実務経験教員の経歴		オープン系システム開発運用において7年間、Web系に8年間関わっていた				

科目名	PHP				
担当教員	片野 史高		実務授業の有無	○	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	PHPの基礎知識とSQL接続を学ぶ。				
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施				
学習目標 （到達目標）	PHPの基本的な知識を学び、アンケートシステムを構築する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社リックテレコム 『いきなりはじめるPHP』				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	PHPの概要		サーバーサイド言語としてのPHPの概要を学ぶ。		
2	環境設定		Xamppをダウンロード、インストール、設定する。		
3～4	HTML、CSS		HTML、CSSの基礎を学ぶ。		
5～8	入力ページ		入力ページを作成する。		
9～10	データの受取		postメソッドを学ぶ。		
11～12	変数		変数にデータをコピーする。		
13～14	入力チェック機能		if命令を学ぶ。		
15～16	項目の追加		項目の追加・削除を方法を学ぶ。		
17～18	ページ移動		history.backを学ぶ。		
19～20	入力データのチェック		else命令を学ぶ。		
21～22	サンクスページ		文字列の連結方法を学ぶ。		
23～24	自動返信メール		mb_send_mailを学ぶ。		
25～30	データベース		phpMySQL操作方法を学ぶ。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題または試験75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態度などを加味する。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。			課題の提出期限を守ること。		
実務経験教員の経歴	オープン系システム開発運用において7年間、Web系に8年間関わっていた				

科目名	Linux				
担当教員	片野 史高		実務授業の有無	○	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	44
授業概要、目的、 授業の進め方	Linux（CentOs）をインストールし、Webサーバーを構築しながら基本操作を学ぶ。				
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施				
学習目標 （到達目標）	Linuxの基本的なコマンドを覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	株式会社技術評論社 『ゼロからわかるLinuxWebサーバー超入門』				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	デュアルOS（WindowsとLinux）		Hyper-Vをダウンロード、インストールする。		
2	サーバーOSについて		CentOSをインストールする。		
3～22	CentOS、ファイルを操作する		ファイルを操作するコマンドを学ぶ。		
23～27	rootユーザーについて		ユーザーとグループを学ぶ。		
28～29	Webサーバーを立てる		WebサーバーApacheをインストール、設定をする。		
30～31	セキュリティ		ファイヤーウォールの設定をする。		
32～33	ブラウザから接続する		IPアドレスでアクセスする。		
34～36	viエディタを使う		viエディタを利用してhtmlファイルをサーバー上で編集する。		
37～39	リモートから操作		SSHでリモートから操作する。		
40～42	ファイル転送		TeraTermやWinSCPを使ってファイルを転送する。		
43～44	PHPを使う		PHPをインストール、設定し動作確認をする。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題または試験75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態度などを加味する。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。			課題の提出期限を守ること。		
実務経験教員の経歴	オープン系システム開発運用において7年間、Web系に8年間関わっていた				

科目名	PC設定				
担当教員	片野 史高		実務授業の有無	○	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	各自のノートPCの環境設定を行なう。				
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施				
学習目標 (到達目標)	今後の授業に必要な環境を構築する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ノートPC				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～5	ノートPCの環境設定①		Office 365のダウンロード、インストール、設定、動作確認。		
6～10	ノートPCの環境設定②		Ms Teamsのダウンロード、インストール、設定、動作確認。 Access2016のインストール、動作確認。		
	</				

科目名	Access基礎				
担当教員	片野史高		実務授業の有無	○	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	60
授業概要、目的、 授業の進め方	Accessビジネスデータベース技能認定試験３級の合格に必要な知識を学ぶ。				
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施				
学習目標 (到達目標)	Accessビジネスデータベース技能認定試験３級レベルの知識を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	株式会社ウイネット　『Access2019クイックマスター』 『Accessビジネスデータベース技能認定試験問題集』				
回数			学習方法・準備学習・備考		
1～2	Accessの基本操作、データベースファイルの作成		Accessの起動、データベースオブジェクト、データベースファイルの新規作成などを学ぶ。		
3～4	テーブル		テーブルの新規作成、主キーの設定、フィールドの追加、インポートなどを学ぶ。		
5～6	クエリ		クエリの概要、選択クエリの新規作成、並べ替え、抽出、演算フィールドなどを学ぶ。		
7～8	フォーム、レポート		フォームの概要、フォームの新規作成、編集、レポートの概要、レポートの新規作成、印刷などを学ぶ。		
9～10	リレーションシップ、マクロ		リレーションシップの概要、テーブルの結合、マクロの概要、マクロの作成と実行などを学ぶ。		
11～12	アプリケーション活用		データベースの設計、テーブルの作成、入力画面の作成、リストの作成などを学ぶ。		
13～15	実技練習問題 1		問題演習と解説。		
16～18	実技練習問題 2		問題演習と解説。		
19～21	実技練習問題 3		問題演習と解説。		
22～24	実技練習問題 4		問題演習と解説。		
25～27	模擬問題 1		問題演習と解説。		
28～30	模擬問題 2		問題演習と解説。		
31～33	模擬問題 3		問題演習と解説。		
34～36	模擬問題 4		問題演習と解説。		
37～39	模擬問題 5		問題演習と解説。		
40～42	模擬問題 6		問題演習と解説。		
43～60	検定受験対策		弱点強化、配点、ポイントの見直しをする。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
検定結果75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態度などを加味する。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。			問題演習はホームワークとなる場合がある。		
実務経験教員の経歴			-		

科目名	Access応用					
担当教員	片野史高			実務授業の有無	○	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期	
必修・選択	必修	単位数		時間数	36	
授業概要、目的、 授業の進め方	Accessビジネスデータベース技能認定試験２級の合格に必要な知識を学ぶ。					
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施					
学習目標 （到達目標）	Accessビジネスデータベース技能認定試験２級レベルの知識を習得する。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	株式会社ウイネット　『Access2016クイックマスター』 『Accessビジネスデータベース技能認定試験問題集』					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1～3	実技練習問題１、テーマ別知識練習問題１・２			問題演習と解説。		
4～6	実技練習問題２、テーマ別知識練習問題３・４			問題演習と解説。		
7～9	実技練習問題３、テーマ別知識練習問題５・６			問題演習と解説。		
10～12	実技練習問題４、テーマ別知識練習問題７			問題演習と解説。		
13～17	模擬問題１			問題演習と解説。		
18～22	模擬問題２			問題演習と解説。		
23～27	模擬問題３			問題演習と解説。		
28～36	検定受験対策			弱点強化、配点、ポイントの見直しをする。		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
検定結果75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態度などを加味する。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。				問題演習はホームワークとなる場合がある。		
実務経験教員の経歴		-				

科目名		就職実務Ⅱ				
担当教員		片野史高		実務授業の有無	○	
対象学科		情報システム科／IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数		時間数	70
授業概要、目的、 授業の進め方		1．就職活動に必要な知識、情報を得る。 2．筆記試験練習（一般常識、SPI、CAB・GAB）を行なう。 3．模擬面接（面接練習）を行なう。 4．SNSリスクを学ぶ。				
授業形態		対面授業と遠隔授業の併用実施				
学習目標 （到達目標）		実際に就職活動を行なえる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		株式会社ウイネット 『勝つための就職ガイドSUCCESS』『専門学校生のための 就職筆記試験対策問題集』				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	就職活動の心構え①			なぜ就職するのか、企業が求める人材とは、身だしなみなどを学ぶ。		
2	就職活動の心構え②			就職活動の流れ、就職活動のルールと諸注意、求職登録と校内模擬面接などを学ぶ。		
3～4	自分と職業を理解する①			ライフスタイルを考える、自己分析で考えるポイント、自己PRの作り方などを学ぶ		
5～7	自分と職業を理解する②			業種と職種、仕事と関連資格、志望動機の作り方などを学ぶ。		
8～9	情報収集のポイント、企業研究の方法			情報の収集方法と活用ポイント、就職課の利用、就職情報サイトの利用、求人票の見方などを学ぶ。		
10	作成書類①			エントリーシートの書き方、履歴書の書き方などを学ぶ。		
11	作成書類②			履歴書の下書きを作成する。		
12	企業訪問			企業訪問とは、企業訪問の準備、アポイントメントの取り方などを学ぶ。		
13	就職試験			就職試験の概要などを学ぶ。		
14	面接試験対策①			面接試験の形式、面接試験の受け答えなどを学ぶ。		
15	面接試験対策②			圧迫面接、スピーチの訓練、本番前の自己チェックなどを学ぶ。		
16	筆記試験対策			適性検査、一般常識、作文・小論文などを学ぶ。		
17	受験後の報告			内定したときにすべきこと、不合格だったときの振り返りなどを学ぶ。		
18～19	履歴書の作成			履歴書の清書を完成する。		
20～22	求職票の作成			求職票を完成する。		
23～35	筆記試験問題演習			一般常識試験、SPI、CAB・GABなどの問題演習を行なう。		
36～50	面接準備、練習			面接の準備をし、模擬面接を行なう。		
51～70	企業研究			企業研究をして受験したい企業を選択し、企業への理解を深める。		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
就職活動状況75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態度、就職活動などを加味する。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。				履歴書、求職票の提出期限を厳守する。		
実務経験教員の経歴		オープン系システム開発運用において7年間、Web系に8年間関わっていた				

科目名	AI概論					
担当教員	佐藤 修一			実務授業の有無	○	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期	
必修・選択	必修	単位数		時間数	24	
授業概要、目的、 授業の進め方	①授業の目的…AI（人工知能）への理解を深め、AIをシステム実装する手段と、AIを社会実装するために抑えておくべき事項を理解する。 ②授業の進め方…「講義（知識習得）」→「演習（開発体験）」→「課題（知識定着）」の3コマ1セットを基本とする。					
授業形態	遠隔授業の実施					
学習目標 （到達目標）	①人工知能（機械学習）による予測や識別のAIモデルを、Python言語を使用して記述できる。 ②サートیفファイが主催する「AI検定」について、検定の受験対策を自らで計画・遂行できる。					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	①新潟人工知能研究所 オリジナル教材（パワーポイント） ②サートیفファイ「AIリテラシー講座【AI検定®対応】」					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1～3	AIの開発基盤・Pythonの基礎			AIの実装を支える技術基盤について全体像を把握する。 AIプログラミングに必要なPythonの基礎を理解する。		
4～6	データの前処理・可視化・基礎分析			分析対象となるデータについて、前処理と可視化を行うとともに、基礎分析による仮説を立てる。		
7～9	機械学習の学習と予測			機械学習における、学習と予測のステップを学び、従来型のプログラミングとの違いを理解する。		
10～12	教師あり学習（回帰・分類演習）			機械学習ライブラリの使用方法を理解して、教師あり学習の手法を学ぶ。		
13～15	教師なし学習（クラスタリング・主成分分析演習）			機械学習ライブラリの使用方法を理解して、教師なし学習の手法を学ぶ。		
16～18	画像認識（ニューラルネットワーク演習）			ニューラルネットワークを用いて、画像データに映っている物体を認識・分類する手法を学ぶ。		
19～21	強化学習（Q-Learning演習）			強化学習の理論を学び、迷路探索を題材にして、その理論を実践する。		
22～24	自然言語処理（BERT・Transformer演習）			自然言語を扱うための最新手法を学び、自然言語処理の社会実装について検討する。		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
演習課題75%、平常点25%				筆記試験は行いません。授業内で出題する演習課題の提出状況に、		
成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。				授業への参加状況、学習意欲を加味して評定を行います。		
実務経験教員の経歴				AI人材の育成に5年間従事。同時にデータサイエンス業務に2年間従事。		

科目名	ビジネス文書					
担当教員	若井彩香			実務授業の有無	無	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期	
必修・選択	必修	単位数		時間数	18	
授業概要、目的、 授業の進め方	ビジネス文書検定３級の合格に必要な知識を学ぶ。					
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施					
学習目標 (到達目標)	ビジネス文書検定３級レベルの知識を習得する。					
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	株式会社早稲田教育出版　『ビジネス文書検定受験ガイド、ビジネス文書検定実問題集』					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
１	表記技能①			総合、常用漢字、現代仮名遣い、送り仮名などを学ぶ。		
２	表記技能②			一般の用語、同音異義語、異字同訓語、慣用の手紙用語などを学ぶ。		
３	表現技能①			類義語の使い分け、表題、箇条書き、図表などを学ぶ。		
４	表現技能②			敬称、尊敬語、謙譲語、丁寧な言葉遣い、手紙のエチケットなどを学ぶ。		
５～６	実務技能			社内文書、社外文書、受発信事務、機密文書、郵便などを学ぶ。		
７～１２	第１～２回模擬試験			問題演習と解説。		
１３～１８	第３～４回模擬試験			問題演習と解説。		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
検定結果75%、平常点25%						
成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		-				

[illegible]

②

長岡公務員・情報ビジネス専門学校 シラバス

科目名	ビジネス著作権				
担当教員	片野史高		実務授業の有無	無	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	33
授業概要、目的、 授業の進め方	サーティファイ『ビジネス著作権検定ベーシック』の合格を目指し、著作権に関する知識について基礎的な理解・具体的な裁判例・ビジネス実務における慣例を基準とする事例判断での応用力を養う。				
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ　『ビジネス著作権検定ベーシック』合格を目標とする。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	株式会社ウイネット　『ビジネス著作権検定ベーシック初級テキスト』、株式会社サーティファイ　『ビジネス著作権初級問題集』				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	著作権の概要		検定内容、範囲、著作権の性質を学ぶ。		
2～3	著作物の定義と著作者の定義		著作物の種類、著作者と著作権者などを学ぶ。		
4～7	著作者の権利		人格権、公表権をはじめ様々な著作者の権利を学ぶ。		
8	保護期間		保護期間と登録制度、国際的保護を学ぶ。		
9～10	譲渡と利用許諾		著作権の譲渡に関わる注意、共同著作、権利消滅を学ぶ。		
11～13	権利制限規定		著作権の制限を学ぶ。		
14～15	著作隣接権		隣接権の内容、制限、保護期間を学ぶ。		
16～17	著作権の侵害		侵害、侵害罪、民事的対策を学ぶ。		
18	知的財産権制度と情報モラル		情報モラルと著作権、プライバシーに関する制度を学ぶ。		
19～33	練習問題		ベーシック・初級問題集を解く。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
検定結果75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態度などを加味する。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。			学習範囲が広く覚えることも多いので、練習問題をしっかりと組み、苦手問題を克服していくことで力を養う。		
実務経験教員の経歴	オープン系システム開発運用において7年間、Web系に8年間関わっていた				

科目名	卒業研究				
担当教員	片野 史高		実務授業の有無	○	
対象学科	情報システム科／IT大学併修科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	275
授業概要、目的、 授業の進め方	各グループで研究テーマを選定し、アプリケーションソフトを制作する。				
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施				
学習目標 (到達目標)	アプリケーションソフトを完成させ、発表会にてプレゼンを行なう。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	研究テーマに沿って、各自で用意する。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～20	テーマ選定		卒業研究のテーマを選定し、共同研究のグループを決定する。		
21～30	計画立案		日程計画、役割分担などの計画を策定する。		
31～100	制作		制作を行う。		
101～106	中間発表会		中間発表を行う。		
107～259	制作		制作を行う。		
260～275	発表会		最終発表を行う。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題75%、平常点25% 提出物、学習意欲、授業態度などを加味する。 成績評定基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	オープン系システム開発運用において7年間、Web系に8年間関わっていた				